

月 日 () 名前 _____

1 教科書6ページの□1を声に出して読みましょう。



(1) プリン1こ分のねだんを求める式をかきましょう。

$$120 \div 3$$

(2) ケーキ1こ分のねだんを求める式をかきましょう。

$$600 \div 3$$

(3) 教科書162ページの「もどる」考えを声に出して読みましょう。

2 $120 \div 3$ の計算のしかたを、教科書7ページのように、 や  を使って説明をします。□の中にあてはまる数をかきましょう。

$$\begin{array}{l} 120 \cdots \cdots 10 \text{ が } 12 \text{ こ} \\ 120 \div 3 \cdots \cdots 10 \text{ が } (12 \div 3) \text{ こ} \\ 120 \div 3 = \boxed{40} \quad \boxed{40} \text{ 円} \end{array}$$



3 $600 \div 3$ の計算のしかたを説明します。□の中にあてはまる数をかきましょう。

$$\begin{array}{l} 600 \cdots \cdots 100 \text{ が } 6 \text{ こ} \\ 600 \div 3 \cdots \cdots 100 \text{ が } (6 \div 3) \text{ こ} \\ 600 \div 3 = \boxed{200} \quad \boxed{200} \text{ 円} \end{array}$$

4 教科書7ページの△2の問題に取り組みましょう。

- ① $360 \div 6 = 60$ ② $630 \div 9 = 70$ ③ $200 \div 5 = 40$
- ④ $400 \div 2 = 200$ ⑤ $700 \div 7 = 100$ ⑥ $1400 \div 7 = 200$

5 まとめです。次の () の中を声に出して読みましょう。

 や  の何こ分という意味にもどって考えると、かんたんなわり算で計算することができます。

月 日 () 名前 _____

1 教科書 11 ページを開きましょう。

色紙 3まいとわりばし 2本を使って、「まるく開くおうぎ」をつくりましょう。

※ 教科書のつくり方を見て、つくりましょう。

2 教科書 12 ページ、13 ページを開きましょう。

(1) ①～⑨の順で、おうぎを開いて、いろいろな大きさの角をつくってみましょう。ただし、②の角をつくったら、①のようにおうぎを閉じてから③の角をつくりましょう。④～⑨の角をつくる時も同じようにしましょう。

(2) おうぎを開いて、直角をつくりましょう。直角は、①～⑨の何番になりますか。右の□に番号をかきましよう。

③

(3) あてはまる^{ことば}言葉に○をつけましよう。

ア おうぎが⑤の状態^{じょうたい}のことを (半回転) ・ 一回転) とよびます。

イ おうぎが⑨の状態^{じょうたい}のことを (半回転 ・ 一回転) とよびます。

3 まとめです。次の () にあてはまる^{ことば}言葉や数をかきましよう。

ア. 1つの頂点から出ている2つの辺がつくる形を (角) といいます。

イ. 直線がどれだけ (まわった) かで、角の大きさがきまります。

ウ. 半分開くと直角の (2) ぶん、全部開くと直角の (4) ぶん分の角ができます。

月 日 () 名前 _____

1 教科書 14 ページの [1] を声に出して読みましょう。

(1) 教科書 169 ページのうすい紙を重ねて、㊸と㊹の角の大きさをくらべてみましょう。どちらがどれだけ大きいかわかりますか。あてはまる言葉に○をつけましょう。

(わかります ・ わかりません)

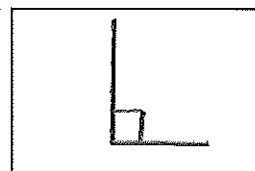
(2) 次の () にあてはまる言葉をかきましょう。

ア. 長さやかさのように、角の大きさも (数) で表せるといいです。
イ. 角の大きさをはかるには、(分度器) を使います。

2 次の () の中を声に出して読みましょう。

度 (°) は、角の大きさの単位です。角の大きさのことを角度ともいいます。

3 直角 (90°) の印を教科書 15 ページを見て、右の口にかきましょう。



4 教科書のうしろにある分度器を見て、気づいたことをかきました。次の () にあてはまる言葉や数をかきましょう。

ア. 10、20、30、…と (10) ずつ大きくなっています。
イ. 0 と 180、10 と 170 が (同じ) 線の上にあります。

5 教科書 14 ページと 15 ページの「角の大きさのはかり方」を読んで、

[1] の㊸と㊹の角の大きさをはかりましょう。

また、どちらがどれだけ大きいかも答えましょう。

㊸の角の大きさは °、㊹の角の大きさは ° です。

の角は、 の角より ° 大きいです。

「角とその大きさ」

月 日 () 名前 _____

1 教科書 16 ページの **3** を声に出して読みましょう。

(1) 分度器を使って、**㊸**と**㊹**の角の大きさをはかろうとすると、下の□の中にあるようなこまったことがありました。() にあてはまる言葉をかきましょう。

ア. **㊸**の角では、(**辺**) の長さが短いです。
イ. **㊹**の角では、**㊸**の角と向きが (**反対**) です。

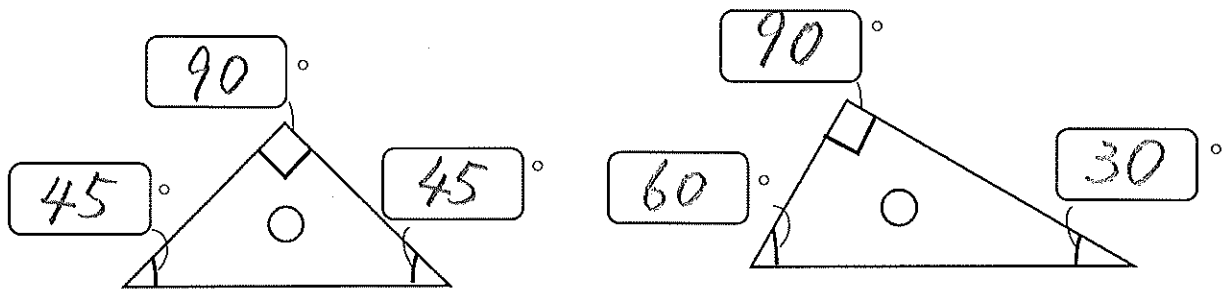
(2) **㊸**と**㊹**の角の大きさを、教科書のように、くふうしてはかりましょう。角度を下の□にかきましょう。

㊸の角の大きさは **55** °、**㊹**の角の大きさは **30** ° です。

2 教科書 17 ページの **4** の問題に取り組みましょう。角度を下の□にかきましょう。

㊸の角の大きさは **35** °、**㊹**の角の大きさは **125** ° です。

3 三角じょうぎの角の大きさをはかりましょう。



4 まとめです。次の () にあてはまる言葉や数をかきましょう。

辺の長さが短いときは、辺の長さを (**のばす**)。向きが反対のときは、左の (**0**) ° から 10°、20°、30°、・・・とよんでいきます。

「角とその大きさ」

月 日 () 名前 _____

1 教科書 18 ページの 1 を声に出して読みましょう。

(1) 分度器を使わないで、㊸と㊹の角の大きさを求めましょう。No4のプリントの三角じょうぎの角の大きさを使って、考えましょう。

㊸の角の大きさは 135 °、㊹の角の大きさは 15 ° です。

(2) ㊸と㊹の角の大きさを、計算で求めます。次の□にあてはまる数をかきましょう。

㊸式 90 ° + 45 ° = 135 °

㊹式 60 ° - 45 ° = 15 °

(3) ㊸と㊹の角の大きさを、分度器を使って、たしかめましょう。

2 まとめです。次の () の中を声に出して読みましょう。

角の大きさも、長さやかさのときと同じように、たしたりひいたりすることができます。

3 教科書 19 ページの 2 の問題に取り組みましょう。
計算で求めましょう。

㊸の式

$$30 + 20 = 50$$

㊹の式

$$90 - 50 = 40$$

㊸の角の大きさは 50 °、㊹の角の大きさは 40 ° です。

「角とその大きさ」

月 日 () 名前 _____

1 教科書 20 ページの 1 を声に出して読みましょう。

(1) ㉞の角の大きさは、だいたいどれくらいになるでしょう。あてはまるものをえらび、() に○をつけましょう。

① 0° から 90° () ② 90° から 180° ()

③ 180° から 270° (○) ④ 270° から 360° ()

(2) 180° をこえる角の大きさのはかりかたを、教科書 20 ページの だいちさんと、ひなたさんの考えをもとに、考えましょう。

(3) 次の□にあてはまる数をかきましょう。

半回転してできる角の大きさは 180° です。

一回転してできる角の大きさは 360° です。

(4) ㉞の角の大きさを、半回転や一回転の角の大きさから求めます。教科書 21 ページの図をもとに、だいちさんとひなたさんの考えを式に表しましょう。

だいちさんの考え 式 180 + 40 = 220°

ひなたさんの考え 式 360 - 140 = 220°

2 まとめです。教科書 21 ページの 2 の問題に取り組みましょう。考えが分かるように、下の () に式をかきましょう。

㉞の角の大きさは 230°、㉟の角の大きさは 315° です。

(㉞の式
 $180 + 50 = 230$
または $360 - 130 = 230$)

(㉟の式
 $180 + 135 = 315$
または $360 - 45 = 315$)